

第 37 分科会 情報視聴覚教育

児童の動画活用スキルを向上させるための指導の在り方

ー デジタルカメラの動画撮影機能を活用した校内ニュース作成を通して ー

1. 設定理由

児童が家庭においてニュースを知る方法の主流は、テレビやインターネットからである。近い将来個人の情報活用手段が携帯電話からタブレット端末へと移行していくにつれ、児童が日常的に活用する情報の質は文字や画像から映像へと移り変わっていくと思われる。

そこで、児童が情報手段に慣れ親しみ、ICTに関する基本的な操作及び情報モラルを身に付け、情報手段を適切に活用できるようにするためには、携帯性の高いデジタルカメラの活用が効果的であると考えた。更に、児童が計画的にニュースを編集することで動画活用スキルを高めたいと考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

児童がデジタルカメラを携帯し計画的に動画を撮影・編集できるようにすれば、進んで動画活用スキルを高めようとする態度が育つだろう。

3. 研究内容

- 校内ビデオニュース作成を通して、動画活用スキルを育てる学習活動の在り方を探る。
 - ① デジタルカメラの動画撮影機能を活用した取材活動
 - ② Windows ムービーメーカーによる動画編集

4. 結 論

- 常に相手（被撮影者・視聴者）のことを意識して番組作りをしたことで、発信者の態度として肖像権の存在を意識できるようになった。
- 様々なメディアの比較を行うことと自分たちの活動を関連付けたことは、正確にわかりやすく情報を伝えるための情報特性理解につながった。
- 動画編集を進めていくうちに、新しい考えを持って思考錯誤をしながら追究する力が育ってきた。

安房支部

館山市立神余小学校

石渡 哲雄